

厚生労働省老健局長 優良賞

事業者名等	元気塾（小山町地域包括支援センター平成の杜）	自治体名	静岡県駿東郡小山町	分野	介護予防・高齢者生活支援
-------	------------------------	------	-----------	----	--------------

取組タイトル	杖から鍬へ げんきファーム あなたの笑顔でみんなが元気！
--------	------------------------------

WEBサイト	
--------	--

背景・課題意識

- ・コロナ禍で、高齢者の認知機能や身体機能、活動意欲の低下が目立つようになり、要介護状態になる高齢者も増えていた。
- ・これまで通りの日常生活を送れるよう、コロナ禍であっても介護予防の取組を継続する必要がある。

経緯

- ・小山町では、高齢者が元気に自分らしい生活を継続できるようにすることを目的として、平成26年度から介護予防教室「元気塾」がスタートした。当初は1クラス17人から始まったが、現在では11クラス200人が参加している。
- ・コロナの影響で一時的に活動を休止した時期もあったが、その期間は電話や訪問で体調管理及び近況確認を行うとともに、脳トレや体操、栄養を考えたレシピを参加者宅に配布していた。
- ・現在はコロナと上手に付き合い、消毒・換気・体温管理を徹底して、ほぼ毎日、小山町のどこかで元気塾を行っている。
- ・「げんきファーム」は元気塾の普段の活動以外で、コロナ禍でもできる活動として、令和3年度からスタートした。

取組内容

畑で野菜作り「げんきファーム」

- ・地域住民の庭と元気塾の施設の庭を開墾して畑を作り、野菜を育てている。
- ・毎週、畑作業を行っており、居場所作りも兼ねている。
- ・畑で収穫した野菜を使って昼食を作り、地域住民の交流が生まれている。
- ・令和4年度からこども園の子どもを招待し、一緒に苗植えや収穫を行うことで、多世代交流の場となっている。

利用者の変化

- ・畑があることで人が集まり、地域住民の交流が生まれている。
- ・野菜作りにおいて、高齢者が役割を担うことで、社会参加の機会となるとともに、生きがいにつながっている。
- ・畑作業を継続することで、認知機能低下の予防につながっている。



取組概要